



ぽっかぽか りす組



天気も良く、水遊びが楽しくできた7月、8月でした。水だけではなく、絵の具、氷、小麦粉粘土、新聞紙など様々な感触遊びを楽しむ事ができました！子どもたちの様子をご紹介しますと思います(^_^)

【7月、8月のこどもたちの様子】

はじめは、水に慣れるところから。「シャワーかけるよ～」と声をかけて足や手から濡らしていきます。シャワーの勢いが苦手な子には容器にすくった水を優しくかけたり、タライの外からシャベルやカップで水に触れるなど、自分から遊びだすのを待つこともありました。無理をせず様子をみながら進めて、今では全員がタライに入って遊んでいます。「あめだ～！！」と大人が上からサーッとシャワーを降らせると「キャー！」と喜び子、「もう一回！」と催促する子もいます！中には「雨、いや」と言ったり、「頭は、なし？」と聞くと「いや」と言葉や身振りで大人に伝えてくれる子もいて、水遊びの場面でも気持ちを伝える力がついているなと感じます。



7月、8月は水遊びとともに、感触遊びもたくさん行いました！氷や絵の具、新聞紙、粘土などいろいろな素材を使って、それぞれの感触を楽しみました。今月は感触遊びについて紹介したいと思います！好きな感触、苦手な感触、ずっと触っていたり、少し触っておしまいになったり、子どもによって反応も様々です。ぜひお家でもやってみてください！

*** 感触遊びとは？ ***

素材のドロドロ、ぐにゃぐにゃ、べたべた、冷たいなど感触の違いを楽しむ遊びです。日常の中で触れる感触を意識的に体験することで、脳の発達を促し、感覚統合の土台を育みます。たとえば、砂や粘土を握る力を加減する、濡れた感触を嫌がらずに楽しむ、ふわふわの布を撫でて安心するなど、何気ない遊びが子どもたちにとっては大きな体験と学びの時間となります。遊びながら「どんな感触かな？」「気持ちいいね」「冷たいね」と言葉で伝えることで言葉も促され、握る・丸める・こねるなどの動作から指先の感覚を高めることへもつながっていきます。楽しみながら、様々な成長につながる感触遊び！園ではこんな遊びをしています。

【新聞紙】丸めたり、ちぎったり、ひろげたり、投げてみたり。新聞紙ならではの感触を楽しみました。「クシャクシャ」「ビリビリ」など形が変わっていくのを目をキラキラさせて見る姿がありました。最後は袋に集めて大きなボールにしました！

【絵の具】手で絵の具に触れる体験は、とっても特別なものでした。「ヌルヌル」「べたべた」、色がいたり、変わったり、その変化と感触を楽しみました。野菜スタンプでは、野菜の質感や見るところによって形が変わることも知りました。

【氷】氷を触ったときの冷たさや、溶けていく様子は氷ならではの遊びとなりました。牛乳パックから出てきた氷、砕いた時の音や氷が割れる姿に歓声が起こることもありました。手が冷たくなってもずっと触っている子も多く、つるつるした感触も楽しかったのだと思います。

【スポンジ】かさかさして乾いているスポンジ、ポタポタと水を含んだスポンジ、ビシャビシャと絞った時の感覚。水遊びの時に小さなスポンジを渡すと、その感触に手を引っ込める子もいました。

子どもに人気の感触遊びですが、なかには苦手意識のある子もいます。新しい遊びが苦手と感じる子や、特定の感触を嫌がる子もいます。無理強いせず、本人が楽しい、触ってみたいと思えるよう工夫しながら遊ぶことで、はじめは嫌だった感触も、少しずつ触れるようになっていく子も多くなりました。これからも様々な感触、いろいろな体験を楽しみながら行っていききたいなと感じる夏でした！



9月27日（土）は保護者会です

詳しくは後日お知らせ致します！ぜひ、お越しください(^_^)
(りす組は9時～の予定です。)